

冬虫夏草は、土の中にいるなどの幼虫に寄生し、夏になって地上に姿を現すキノコの総称だ。幼虫の外観はきれいに保たれているので、「冬は虫、夏は草に変身して生きている昆虫植物複合体」と考えられていたフシがある。

薬用の極上品は、主に中国の四川省、雲南、貴州、チベットなどの高地に棲むコウモリガの幼虫に寄生したコリデイセプス・シネンシスというキノコだ。

中国では古来、不老長寿の秘薬として珍重されてきた。虫が付いたまま日光で乾かし、煎じて飲んだり、ホワイ

トリカーに漬けて薬用酒にする。病後の体力低下、インボテンス、結核、喘息などに効くという。

最近の研究では、感染防御作用や気管支拡張、免疫力強

もつつの活力源 ナゾの 冬虫夏草とは

化、強精作用などが確認されている。金沢医科大学血清学教室の山口宣夫教授によると、抗がん作用もあるという。マウスにがん細胞を移植して、冬虫夏草、クレスチン

(抗腫瘍薬)、漢方薬の十全大補湯の三剤で効力を比べたら、冬虫夏草が最も優秀な成績を示した。

「がんや後天的な免疫不全の疾患にも応用できるのでは」と山口教授は話している。

冬虫夏草はハゲに効くという説もある。サントリーでは、実験の結果、比較的強力な抗脱毛作用が認められたことから、すでに冬虫夏草エキ

ス原液を製造し、メーカー向けに販売している。人気の高い、資生堂の育毛剤「不老林アクティブ」の中にも入っている。

フリーライター・山崎博丸

みても、特に犬を食べてはいけないという項目はない。厚生省に聞いても、

「食肉として適しているかは別問題として、犬を食べることは禁止していない」というが、動物愛護団体や保健所などの目は気になるらしい。

薬膳料理に詳しい富山医科大学大教授で同大和漢薬研究所の難波恒雄所長は、

「犬は朝鮮半島や中国の南方で食べる習慣がある。体が温まるので、寒い地方では必要だったんでしょう。それを欧米の価値観で批判するのは間違っている」

さらに、

「成分的には解明されていない

いが、繊維質も多い。世界新記録との因果関係はわからないが、大変優れた食品です」

しかし、先の湯さんは、「犬料理は作り方以上に、食べ方が難しい。中国にある『遇強則強』という言葉通り、犬は体質が合えば体にいいが、合わない人が食べると逆効果になる」

と、だれにでも効果があるわけではないと警告する。

北京は、まもなく最終決定される二〇〇〇年の五輪招致に燃えているが、この「犬のシチュー」報道が、西欧に新たな「北京五輪反対」運動を引き起こさないよう、東洋人の一人として祈りたい。

本誌・浜田敬子

秋になったら家族みんなで熱海後楽園ホテル

温泉とゆえんち

楽しさWで大満足。

遊園地が新しくなりました。

ホテルのなかのゆえんちアピオ

熱海後楽園ホテル

〒413 熱海市和田浜南町10-1 ☎(0557)82-0121・代

予約センター(0557)81-0041

——後楽園ホテルグループ——

札幌後楽園ホテル

〒060 札幌市中央区大通西8 ☎(011)261-0111

大阪後楽園ホテル

〒542 大阪市中央区南船場2-12-22 ☎(06)251-2111

城島後楽園ホテル

〒874 別府市城島高原123 ☎(0977)22-1161

予約センター／札幌(011)261-8333

東京(03)3818-1230 名古屋(052)937-8569

大阪(06)251-1319 福岡(092)722-4080

BIG EGG